



2019・8・11

第 347 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

戦争の惨禍を2度と繰り返させないために

ヒロシマに原爆投下された日に

各党代表がズラリ、リレートーク

【香川県／9条の会かがわ等】 9条の会かがわと県革新懇は6日、安倍内閣退陣を求めて高松市の商店街をデモ行進、40人が参加しました。

行進前の集会では国民民主党の山本悟史県連幹事長、立憲民主党の富野和憲県連代表、日本共産党の田辺健一県常任委員、社民党の吉峰幸夫県連副幹事長、新社会党の井角操県本部委員長がリレートーク、野党共闘を発展させることなどを訴えました。

参加者は「選挙の民意は改憲ノー」「みんなで守ろう自由を守ろう」と声をあわせ、商店街を行進しました。

参加した市内の末光甲正さん(85)は「参院選で改憲勢力に3分の2をとらせなかった結果を大事にしたい。1人区で10議席をとれたことを力に安倍政権を辞めさせたい」と話しました。

「平和の火」に点火、決意新たに

【長野県岡谷市／岡谷九条の会】 岡谷市で6日朝、「核廃絶岡谷平和のつどい」が

秋の臨時国会、焦点は憲法改正

ANN 政治部・吾妻栄里奈記者報告

安倍総理大臣は、9月中旬にも自民党役員人事を行い秋の臨時国会に臨みます。次の国会の最大のテーマは憲法改正です。

参議院選挙ではいわゆる改憲勢力が3分の2の議席を確保することができませんでした。今後、自民党が改憲シフトをどう作り野党への多数派工作をしていくのか注目です。一方、野党側は一枚岩ではありません。安倍政権での改憲を許さない勢力と改憲議論を進めてキャスティングボードを握りたい勢力が入り乱れているのが現状です。臨時国会でも野党共闘ができるのが課題です。(8月5日12:01)

開かれました。岡谷九条の会主催。約80人が参加しました。

小井川小学校内には、広島で被爆したアオギリから育てた「被爆アオギリ二世」が植えられています。アオギリの前で、笠原忠夫・岡谷九条の会共同代表、今井竜五・市長らが「平和の火」に点火。8時15分には、サイレンに合わせて黙とうしました。

笠原氏は「原爆は戦争が引き起こした悲

劇。平和憲法という宝を子どもたちに引き継いでいこう」とあいさつ。今井市長は「核兵器の廃絶と、戦争や紛争のない世の中になることを願います」と参加者を激励。

平和を願う太鼓演奏の後、核廃絶を願う「平和宣言」が読み上げられました。

参加した岡谷市の60代女性は「言葉で言い表せない原爆被害の悲惨さを若い人に伝えていきたい」と話していました。

赤紙配布し核廃絶を訴え

【大阪府大東市／野崎駅周辺9条の会等】 大東市の野崎駅周辺9条の会と野崎駅周辺で共同する会は、恒例の駅頭宣伝を6日、広島への原爆投下に合わせて宣伝しました。会は2004年8月6日からこの日で結成15周年を迎えました。今回は、毎月宣伝連続184回目の宣伝行動で、早朝7時30分から大東母親連絡会の皆さんも参加して13人が赤紙や当会の独自ビラを配布し核廃絶を訴えました。行動には核兵器禁止条約の批准を呼びかけた横断幕を掲げました。

原爆投下時8時15分には全員で黙とうをささげました。その後「原爆を許すまじ」を合唱し、今後の決意を固めました。

行動は、毎月発行の「野崎駅周辺の会NEWS」で参加を呼びかけてきました。行動参加者の累計は2291人、毎回のオリジナル独自ビラは200種類を超え6万5千枚が配布されています。

リレートークでは、戦争は絶対繰り返さない決意で、赤紙（召集令状）を紹介し、被爆の深刻さを訴え、国連の核兵器禁止条約採択を大歓迎し、条約への参加と批准を求めよう、批准のできる国会を野党と市民

の共同で実現しよう、アベ内閣から憲法9条を守ろう、と訴えが続きました。駅前が工事中でしたが元気に訴えました。

62回目迎えたランチタイムデモ

【和歌山県／憲法9条を守る和歌山弁護士会】 6日、炎天下の広島原爆の日、憲法9条を守る和歌山弁護士の会が呼びかける第62回「憲法の破壊を許さないランチタイムデモ」が行われ、70人の市民が参加。

先の参院選の野党統一候補だった藤井幹雄弁護士は、和歌山市役所前での出発挨拶で、選挙支援への感謝を述べ、これからも力を合わせて安倍改憲を葬り去り、核と戦争のない世界を実現するためのたたかいを続けていこうと呼びかけました。

参加者は和歌山市役所から京橋プロムナードまで、「9条改憲反対」を訴え行進しました。（「9条の会・わかやま」第379号）

秋に向け3000万署名さらに

3000万署名の訴えに行列も

【青森県／青森県九条の会】 安倍9条改憲反対3000万人署名を地域で高く積み上げ、憲法改悪を断念させようと、青森県九条の会は7月31日、青森市で「みんなの力で憲法守ろう」の声を響かせ、元気いっぱい署名を呼びかけました。

夏祭りのはやしが流れる商店街の一角。

「あなたは戦争へ行きますか。子や孫を戦場へ送りますか」の横断幕を掲げ、参加者が並んで署名を呼びかけると、一時は列ができるほど市民が足を止め、署名と「頑張ってる」の激励が相次ぎました。

「うん、いいよ」と解体作業に従事する36歳の男性が署名しました。食べていた昼食のソーセージパンを口に押し込み、言いました。「みんな頑張ってるんだね。うまく言えないけどさ、わ(私)も、平和がいい」。

自営業の65歳の女性は「戦争しないと決めた国で生きてきたんだよ。私たちは、憲法を変えようとする安倍さんに怒らないといけない、許しちゃいけない」と憤ります。

曲がった腰をヒョイと伸ばし署名した女性(80)は「おら、憲法はよくわからないけど戦争がダメなのはよく知っているよ」と胸を張りました。

「安倍政権退陣を願う」と署名した男性は「国民一丸となって安倍首相をびびらせて改憲を諦めさせたい」と力を込めました。

若い世代にどう広げるかの課題も

【前橋市桂萱地域／かいがや市民の会】

前橋市で安倍9条改憲NO!3000万人署名に取り組んでいる「かいがや市民の会」は7月28日、5回目の署名行動を行い、25人分の署名を集めました。猛暑のなか、飲料水を用意するなど熱中症に気をつけながら市内の桂萱地域を訪問しました。

訪問先では「暑いのにご苦労様」と栄養ドリンクを差し入れてくれる人や、「今みんなが帰ってくるから」と親戚の人たちにも署名を勧めてくれた人がいました。

会のメンバーからは、「同年代は署名に協力してくれるが、若い人にどう広げるかが課題だ」「署名拒否もあった。改憲側の影響もあるのかな」等の感想を出しあいました。

これまでの署名運動の経験交流

【高知県／こうち九条の会】 こうち九条の会は3日、高知市で全県交流集会を開きました。40人が参加し3000万人署名をはじめとした県内各地の取り組みが報告され教訓を学び合いました。

各地から「市民と野党の共闘組織南国市民アクションを結成し、3000万人署名を推進。1万人の目標に対し3383人分に到達。取り組みの中で連帯感と友情が生まれている」(南国市・大籬九条の会)、「ニュースをつくって地域に全戸配布している。参院選では、野党統一候補の政策を載せ、『戦争法廃止、憲法9条を守る1票を』と呼びかけた」(高知市・九条の会福井)、「地域訪問や団体に依頼するなどして3000万人署名を集め、2000人の目標を突破し、2023年に到達した。次は有権者過半数をめざす」(大月町・大月九条の会)、「地域の祭で統一行動をするなどして3000万人署名を集め、目標の3000人に対して2227人に達した。若い人に取り組みを引き継いでいくため、現役労働者にも訴えていきたい」(土佐市水九条の会)、「新婦人、共産党、九条の会で統一行動を組み、地域を回って3000人署名を集めている」(四万十市・中村九条の会)などの発言がありました。

同会事務局の徳弘嘉高氏が、参院選で改憲勢力が改憲発議に必要な3分の2の議席を割ったにもかかわらず、安倍首相が「信任」を得たとして改憲を策動していることを批判。改憲を許さない世論を喚起するため3000万人署名の目標達成を訴えました。

「あなたも3000万分の1に」と

【神奈川県／あつぎ・九条の会、那須野

章】 厚木では「九条の会」など、核兵器廃絶署名と 3000 万署名をセットでお願いしている方が多いようです。私も「九条の会」会員ですが、仕事は大工です。中小業者の団体である厚木民主商工会の常任理事でもあります。従って、先に消費税増税反対の署名の後に 3000 万署名をお願いしています。

週一日の休みを利用して、隣近所からまわり始め、近所の商店はすべて訪問しました。訪問時間帯は夕方の水撒きをする時間あたり。稀には消費税署名はしてくれても 3000 万署名は断られることもあります。しかし、「何もしなければ代わりません」、「署名をする時間は数分だけど一生の問題、孫子の命にかかわる問題です」「あなたも 3000 万分の 1 になってください」と訴え、めげずに署名に取り組んでいます。

署名用紙はいつも持ち歩いています。署名運動は自分のためでもあり、みんなのためにもなります。一人の力は限りがあるので、みんなの力を貸してもらえれば改憲も増税も止められると思います。（「あつぎ・九条の会」8月号）

「たたかいはこの 2 年がやま場」

【愛媛県／憲法 9 条をまもる愛媛県民の会】 愛媛県民の会は 4 日、松山市で第 16 回総会を開きました。「安倍改憲阻止のたたかいはこの 2 年間で最大のやま場」「気を引き締めて全力で取り組もう」などと安倍改憲阻止に向け、決意を固めました。

東俊一代表幹事は「参院選の結果は、自民党が 9 議席減らし、単独過半数を失い、自民・公明・維新の改憲推進 3 党を合わせても 3 分の 2 を割った。憲法改定を封じ込

めよう」とあいさつしました。

高田義之代表幹事は活動方針案について、▽講演会・映画会などの例会開催▽会報「9 条タイムズ」の発行▽「9 の日」宣伝▽「9 条パレード」の実施▽会員の 100 人拡大などを提案しました。

討論では「昨年、会を結成して会員が 100 人を超えた。憲法カフェを毎月実施し二十数人が参加している」（松山市・小野 9 条の会）などの発言がありました。

日本体育大学の清水雅彦教授（憲法学）が記念講演し、「市民と野党の共闘を全国でくまなくつくり上げ安倍改憲の発議を阻止しよう」と呼びかけました。

高校生向けパンフを作成

【宮城県／宮城県内九条の会連絡会】 宮城県内九条の会連絡会は高校生向けパンフレット「日本国憲法をよんでみませんか？ 憲法ってどんなもの」を発行しました。2016 年から首長や議員の選挙、国民投票のできる年齢が満 18 歳以上となりました。私たちが政治を考える上でとても大切なことは、国の基本を定めた「日本国憲法」をしっかり理解することです。憲法があなたの身近なものになるようにとこのリーフレットを作成しました。このリーフは東北地区九条の会交流会のときに紹介された花巻市九条の会のリーフを参考に作成されました。

リーフレットは A4 版裏表に印刷され、三つ折りにして配布することができます。とりあえず 1000 枚印刷しました。県内九条の会より希望があればお分けいたします。宮城県内九条の会連絡会 022-728-8812（E メールニュース「みやぎの九条」）